

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ことばの教室そらまめキッズ				公表日	令和8年 2 月 28 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		部屋で活動を分けたりパーティションで区切ったりして工夫しています。	定期的に見直しながら再構造化を行っていききたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの状態に合わせて小集団2,3人の時間を作るなどして職員の配置を考えています。送迎で、2人の子を1人で送る時があります。	今後も活動内容や支援内容に応じて配置等も考えていきたい。送迎は子ども状態に応じて柔軟に対応していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもが目線に合わせた構造化がされていると思います。バリアフリーに関しては、まだ今の事業所では車椅子の方はいないが、もし来られるとしたらスペースの確保や事業所に入る階段など検討していく必要があると思います。	危険な箇所など共有しながら適時、再構造化を行い安心、安全に過ごせる環境作りを今後も行っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援後の毎日の掃除を分担して行っています。また気づいた人が気づいた時にゴミの処理や空間の整えを行えています。掃除等はしているが、物が置いたままになっていることがあるため、片付けをこまめに心掛けていきます。	「後でしょう」がそのままになっていることもあるので、声を掛け合いながらお互いフォローしながら環境を整えていきたいと考えています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋など配慮が必要なときはスタッフ同士声をかけあっていると思います。状況によっては、部屋を交代して個室を使えるようにしています。	今後も声を掛け合い、柔軟に対応していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		個々で1日のスケジュールを書き出すことによって時間を有効に使いながら、業務に取り掛かっています。話し合いの時間をもっとつくってきたいと考えています。	話し合いの時間を設定しないと自発的な声かけはないのですぐに話し合える雰囲気、環境を整えていきたいと思っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内相談や支援後のフィードバックでの保護者の意見やご家庭の様子をその日のうちにスタッフ同士に共有し合っています。意見をいただいた時は話し合いを行い改善に努めています。	今後もすぐに共有しながら迅速に対応できるようにしていきたいと思っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援の様子やもっと改善した方がいいこと次回のねらいなどスタッフ同士で共有し合う時間をつくっています。また分からないことは記録などを見てスタッフ同士で尋ね合っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	SNS活動等を通し、事業所を知ってもらっている実感はあります。「いつも見てます」と声をかけてもらったことや嬉しい報告をスタッフ同士共有しております。	今後も発信を続けながら多くの方知ってもらえるようにしていきたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修はよく行っているイメージがあります。新しいことを知るいい機会であり有難いです。充実していると思います。	意欲があれば学べる環境にあるので、積極的に評価し事業所内で発表し深めていけるようにしていきたいです。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個々にファイルにて管理しておりいつでも分かるようにしてあります。	全員に周知できていないので伝えていけるようにしていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			アセスメント方法などを全員で再確認し、支援に活用できるようにしていきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケア会議にして情報を共有しています。もっと改善点がないか意見を出し合いながら計画を立てています。	じっくりと話し合うことがすぐにできていないこともあるので、時間の確保に努めていきたいです。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々にファイルで管理することにより、いつでも誰がみても分かるようにしてあります。内容を実施できていないことがたまにあるので、支援に入る時は、計画を確認する計画に沿って行っているが、共有が不十分な時もあります。	ねらい自体がブレてしまうこともあるのでケア会議等で共有し、支援の統一を図る。記載された内容が、支援できていないことがまれにあるため支援に入る時は計画の確認をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じて検査は行っているが、行動の観察・分析まではできていないこともあります。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			関係機関との情報共有の機会が少なく連携が限定的になっているため、電話・メールを活用し連携強化を図っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		メインの人がたてて、他の方がアイデアや助言を出しています。	月の担当、イベント担当など担当者に大きな負担が行きがちなので、チームとして取り組んでいけるよう体制作りを行っていきたくと思っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		1つのねらいでも活動内容を変え楽しみながら行えるようにしています。	今後も固定化しないように進めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個に応じて、支援の中で小集団の時間を作るなど適切に行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼での伝達事項 いつでも分かるようには貼り出しを行っています。	チーム全体で動ける関係作り、支援分担を図っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼時に振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		分析をする機会を増やしたいと思っています。記録の取り方を統一しています。	誰がみても分かりやすい記録方法に努めています。分析の機会を増やしていきたいと考えています。
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			必要に応じて対応できていない部分もあるので、状況に応じて見直しができるようにしていきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本固定されています。人員上難しい場合があるかもしれませんが、適当なものが参画できるとよいと思います。	他のスタッフも参加できるようにしていきたいと思っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			共有されているところが少ないので、働きかけていきたいと考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援シートを活用し情報共有を行っています。	幼保小連絡会に参加できない時は個別に共有を図っているが、すべての利用児ができていないわけではないので検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		研修案内はもらうが参加できていません。	案内が来ても参加までは至っていないので参加できるよう努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックを行い、家庭での様子や日々の様子を知り、日々の課題など再認識、共通理解ができていると思います。送迎時に話をしています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		定期的を開催しています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		手に取って見れるよう待合室に掲示してあります。契約時にも説明を行い、変更があった時は説明・同意書をいただいています。	今後も丁寧な説明と見やすい掲示に心がけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画前に毎回はできていません。	情報共有や以降の確認をきちんと行っていける体制作りをしていきたいと思っております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		対面で説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内相談やご利用時にフィードバックを行っています。	相談しやすい関係作りや雰囲気作りを心がけていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会はないが、家族参加イベントを実施しています。イベント時やペアレントトレーニング時に保護者同士の交流を持つようになっています。	参加される方が固定化しやすいので、今後も多くの方に参加していただけるよう呼び掛けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		急な相談にも対応できるよう心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		注意しているが、裏紙等に個人情報が入っている時があります。	個人情報等の漏れがないように注意を払い裏紙等の使用の際は注意していきます。個人情報が入っている場合は必ず破棄していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		催し物やおはら祭りなどに参加しています。コミュニケーションはあります。地域住民を事業所の行事に招いてはませんが、無料での講演会を行っています。	法人全体としても検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		引渡し訓練、職員間の避難訓練など定期的に行っています。	今後も事故防止に努め、定期的に訓練を行っていただけるようにします。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		引渡し訓練、職員間の避難訓練など定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		そらまめシートの活用しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		そらまめシートの活用しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所に掲示しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		実際にヒヤリハットが起きた際は、スタッフ同士で共有し、改善するべき点を考える時間をつくっています。Goodフォームを活用し、全事業所で共有できるようにしています。リスクマップを掲示しています。	すぐに共有、改善とスピードを持って対応できるようにしていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2回研修を行っています。	今後も定期的に行い、防止に努めてまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会を中心に話し合い、年に2回の研修を行っています。支援計画に記載、保護者へ同意を得ています。書類サインの期限が切れていることがあるかもしれないので確認を定期的に行っています。	書類の見直し、保護者への同意をしっかりと得るようにし、支援方法も随時検討していただけるようにします。	